

補助金チェックシート(既存)

作成年度: 令和6年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市地域空き家活用補助金				補助金番号	G4-12		
所管部署	都市整備部 住宅まちづくり課							
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市地域空き家活用補助金交付要綱							
交付の目的	空き家の活用を促進し、もって市内の空き家問題の解消及び地域社会の活性化に資することとする。							
補助対象経費	地域の同意を得た事業を展開する市民団体等の活動拠点とするための空き家の改修費用							
補助率・補助額	その他							
交付先	補助対象住宅を所有する個人、またはその個人の同意を得て活用する市民団体及び非営利活動法人							
開始年度	令和4 年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和9 年度末			
補助金性質分類	制度的補助		団体運営補助		事業費補助	○	その他	
法令等での義務付け	なし	法令等名称						

2. 補助金の予算・決算等

					(千円)
		R3	R4	R5	R6
予算額			1,500	2,500	2,500
決算額			1,500	0	
特定財源	国庫支出金		750	0	
	府支出金		0	0	
	その他		0	0	
	一般財源		750	0	
					(件)
交付実績			1	0	

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	空き家の活用を促進し、地域の空き家問題の解消等に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	市内の空き家問題の解消及び地域活性化にとって必要不可欠なものである。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	少子高齢化による人口の減少や核家族化等の進行により空き家が増加し、安全面の不安・公衆衛生の悪化・景観への悪影響等が問題となっている。地域が積極的に空き家を地域資源として利用し、課題の解消に取り組むニーズが見込まれる。

有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	補助金の活用があった案件では、交付対象となった空き家が地域の拠点として有効活用されている。今後も補助金の活用によって市域活動の活性化の長期的な効果を上げる見込みがある。空き家の活用件数と地域問題の解決件数で効果測定が確保されている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	補助金の利用により、地域のニーズに合った課題解決が見込まれ、適正で効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	不特定の個人または市民団体及び非営利活動法人を対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	全額補助となっていない。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	補助金交付要綱に定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	補助制度の内容についてチラシを窓口に設置しているほか、ホームページで補助金交付要綱と併せて補助制度の内容を公表している。

②補助金性質分類別の視点

[事業費補助]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓	地域の空き家を活用し、地域課題を解消する活動に限定した補助金である。
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓	対象となる交付団体は市民団体又は非営利活動法人としており、空き家の改修には相当の金額がかかることから、交付が必要であると客観的に認められる。

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	今後も空き家の増加が予見されており、更なる空き家対策が必要となる中、空き家の活用という点において、地域が積極的に空き家を地域資源として利用し、課題の解消に取り組むニーズが引き続き見込まれるため。
対応完了・廃止予定時期	